

公益社団法人日本地球惑星科学連合  
平成 25 年度第 4 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 25 年 10 月 11 日 (金)  
午後 2 時 00 分から午後 6 時 00 分
2. 開催場所 東京大学理学部 1 号館 7 階 710 号室  
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 20 名  
出席理事 15 名 (定足数 11 名 会議成立)  
出席監事 1 名  
オブザーバー 5 名
4. 議長 理事 津田 敏隆
5. 出席役員  
理事 津田 敏隆  
理事 川幡 穂高  
理事 木村 学  
理事 中村 正人  
理事 小口 高  
理事 奥村 晃史  
理事 北 和之 (v-cube 出席)  
理事 古村 孝志  
理事 佐藤 薫  
理事 杉田 倫明  
理事 瀧上 豊  
理事 成瀬 元  
理事 畠山 正恒  
理事 濱野 洋三  
理事 松本 淳  
監事 松浦 充宏
6. 出席オブザーバー  
宇宙惑星科学セクションプレジデント 大村善治 (v-cube 出席)

大気水圏科学セクション幹事 川合義美  
固体地球科学セクション幹事 木村純一  
男女共同参画委員会委員長 小口千明  
AOGS2014 LOC 委員長 渡辺重十 (v-cube 出席)

午後 2 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長津田敏隆は議長席に着き、開会を宣言した。

## 7. 報告事項

### (1) 25 周年記念事業 (津田会長) 資料 P.1-P.4

25 周年記念事業について報告があった。平成 25 年第 3 回理事会 (7 月 30 日) 第 6 号議案により 25 周年記念事業準備委員会が設立され、8 月 28 日 (水) に第 1 回会議を開催した。会議では、同第 3 回理事会 3 号議案に基づき設置された連合大会記念行事開催資金の用途として、25 周年記念出版物 (連合を紹介するパンフレット, JGL の単行本化), 記念式典 (2014 年大会, 2015 年大会) およびその他の事業 (出前授業, 高校生セッション地方大会等) を検討した。

また、本理事会の前日に開催された事前会議の議事内容を報告した。同会議では財務の現状について西理事より報告があった。25 周年記念大会資金以外にも、未執行の予算や科研費受領に伴い用途変更の必要がある予算の用途について検討した。若手および留学生に対する連合大会参加支援, および海外派遣 (国際会議出席) を支援する特定資金の設置を検討中であることを報告した。今後、7,369,129 円について具体的用途を早急に決定・執行の必要がある。各セクション, 各委員会においては残予算の執行と併せて、追加分の用途についても希望があれば財務委員会へ連絡する。

### (2) 新ジャーナル状況報告 (川幡理事) 資料 P.5-P.6

新ジャーナルの進捗状況の報告があった。Springer 社の投稿サイトは 10 月中 (順調なら 10 月 25 日) に稼働予定である。JpGU による雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」プロモーション用のサイトも近日立ち上げることで契約を結んだ。連合ホームページは既に稼働しており順次改訂している。充実したテンプレートや QandA を用意した。原稿依頼も進んでおり、セッション・コンビーナーから推薦された方々には 10 月 4 日、海外の方には 7 日に依頼メールを送信済みで、投稿承諾の返事も 10 件程度いただいている。ただし二重投稿などの問題には特に気をつけている。

また編集委員, Advisory Committee への委嘱は完了している。

ジャーナル関連特別セッションの募集中である。採否はジャーナル経営企画員会で決定する。

また、EPS の出版準備もすすんでいるという報告があった。

EPS 運営委員会へのオブザーバーとして西弘嗣理事，杉田理事を推薦し委嘱を完了した。連合大会アプリに関して，昨年同様の機能に加え，発表時の補助資料を掲載・ダウンロードできる機能をもったものを検討し，見積り中である。

### (3) 委員会活動報告

#### 環境災害対応委員会（松本理事）資料 P.7-15

環境災害対応委員会の活動報告があった。日本学術会議により 3 月 28 日，東日本大震災に係る学術調査検討委員会提言「東日本大震災に係る学術調査一課題と今後について」を受け，災害時および平常時の各学協会の連絡体制について調査した。地質学会，地理学会，地震学会等，充実した対応組織ができている学会もみられる。

連合としての対応策の案は資料 P.10 にまとめた。連合として学協会とのパイプ役を果たし，学協会の調査の調整や現状把握に努めることを中核的任務とすることを提案する。迅速な対応が必要でありまた緊急セッション等による充実した議論も必要である。来年の連合大会で各学協会の協力の下でユニオンセッション提案を検討する。

#### 男女共同参画委員会（小口委員長）P.16-18 および A3 差し込み資料

男女共同参画委員会の活動報告があった。「女子中高生夏の学校」に連合として初参加した。男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへ例年通りポスター参加し，昨年の大規模アンケートの報告書を配布した。2014 年連合大会時の保育室利用に関するアンケートを行う。協力をお願いする。

#### 広報普及委員会（事務局による代理報告）P19-31

広報普及委員会よりホームページ運営管理システム導入に関し報告があった。かねてより各委員会やサイエンスセクションの活動報告や紹介のページを連合ホームページ上にて手軽に運営したいという要望があった。これに答えるためコンテンツ・マネージメント・システムを用いてブラウザ上にて管理運用できる専用のシステムを導入した。使用方法の講習会を 10 月 21 日に予定している。また同内容の第 2 回も日程調整中である。

#### 選挙管理委員会（古村理事）P.32-P.45

選挙管理委員会の次期代議員選挙に関して報告があった。現在は立候補を締め切り，投票期間中である。積極的な投票を促すため，津田会長から加盟学協会長に各学協会会員の投票の呼びかけを依頼するメールを送信することとなり，即日送信した。9 月 20 日に開催した第一回選挙管理委員会会議でいくつかの選挙管理上の問題を検討した。立候補と推薦や複数の推薦が重複した場合の対応，立候補時に正会員資格を事前確認することの促進，立候補や投票の期間前後に登録区分を変更することの是非，立候補者が定員に満たない場合の

規定の制定等を検討したことを報告した。

#### 教育問題検討委員会（畠山理事） P.46-P.51

文部科学省初等中等教育局教育課程課への要望書提出を検討しているとの報告があった。今後さらに検討してゆくこととなった。

また教育問題検討委員会主催の各種シンポジウムへの連合理事の積極的な出席の要請があった。理事会としてはこれまで出席が充分でなかったことを反省材料とし、今後は積極的に参加するとした。

### 8. 審議事項

#### 第 1 号議案 2014 連合大会準備の件（浜野理事） P.51-70

大会準備状況の報告があった。現在はセッション提案の受け付け中である。

プラズマ宇宙物理学 3 学会合同セッションの提案を受け付けた。日本物理学会、日本天文学会の学会員は連合会員価格で参加・投稿を受け付ける。ただし地球電磁気・地球惑星圏学会は参加学協会であるため、その会員は連合会員でない場合会員価格は適用されない。

パシフィコ横浜メインホールを全日程で借り高校生セッションや多数の参加者が見込まれるセッションの会場、25 周年記念式典等に活用する。

懇親会とアイスブレイカーの開催を承認した。

#### 第 2 号議案 フェロー制度（中村理事）資料 P.71-76

公益社団法人日本地球惑星科学連合フェロー制度規則案ならびに公益社団法人日本地球惑星科学連合フェロー審査委員会規則案が提出された。以下の修正を加えた上でこれを承認した。

フェロー制度規則は、第 1 条の「地球惑星科学 (宇宙科学を含む)」を「地球惑星科学」に、第 2 条(2)の「地球惑星科学連合」を「連合」に、第 4 条の「推薦者一名」を「推薦者 1 名」に、第 5 条の「理事会は推薦された候補者の中からフェローを選考するためにフェロー審査委員会（以下、「審査委員会」という。）を設置する。」を「理事会は、フェロー審査委員会（以下、「審査委員会」という。）を設置し、推薦された候補者の中からフェローを選考する。」に、第 5 条 2 の「フェロー審査委員会」を「審査委員会」に変更する。

フェロー審査委員会規則は、第 6 条の「委員が改選された時点」を「当該年度の全委員が改選された時点」に、変更する。

フェロー審査委員会委員候補者を承認した。ただし改訂されたフェロー審査委員会規則第 6 条に基づき、氏名を公表するのは全委員が改選された時点とするため、本議事録には氏名を記さない。

第 3 号議案 AOGS2014 への対応 (AOGS2014LOC 委員長 渡辺重十) 資料 P.77-79  
2014 年の AOGS 大会準備状況に関する報告があった。会場はロイトン札幌をメインとしセッション数の増加に合わせて周辺の会場も利用する準備がある。会場アルバイトの手配や VISA の手配に関わる事務作業は LOC と AOGS 事務局で対応する。札幌市等からの助成金で招待講演者に旅費支援を行うが、その際どの招待講演者の旅費にどの助成金を充てるか等の相談は必要に応じて LAC と行う。JpGU 事務局に事務負担が発生しない方向で準備している。

第 4 号議案 固体地球科学セクション小委員会設置の件

(大谷セクションプレジデント 古村理事による代理報告) 資料 P.80

固体地球科学セクション内に地球内部科学小委員会を設置する報告があった。これは委員会の下部組織としての小委員会ではなくセクションの下部組織であるため、法人運営規則 17 条 4 項は適用されず、セクション内の小委員会設置は理事による承認を必要としない。よって、固体地球科学セクションの意向に従い地球内部科学小委員会を設置することとした。ただしこうした場合も理事会に報告は必要であるとした。

第 5 号議案 科学研究費補助金における国内出張旅費および外国出張旅費規則の改定の件

(川幡理事) 資料 P.81-99

科学研究費補助金における国内出張旅費規則の附則 1, 外国出張旅費規則の同じく附則 1 を削除することが提起されこれを承認した。

第 6 号議案 学協会長会議の準備 (津田会長) 資料 P.100

10 月 18 日 (金) に開催される第 9 回学協会長会議の準備状況について報告があった。連合の活動報告の項目と概要を確認した。

第 7 号議案 会員 (正会員) 入会承認の件 (古村理事) 追加資料

定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者を承認した。

第 8 号議案 夢ロードマップ改定の件 (中村理事) 追加資料 P.1-21

夢ロードマップ改訂案を承認した。学協会長会議で提示する。

第 9 号議案 2015 年連合大会の GSA 共同開催について (津田会長) 追加資料

石渡明日本地質学会会長より、米国地質学会 (GSA) 2015 年大会を連合大会と共同開催または同時開催することの打診があったという報告を受けた。連合としては前向きに検討していくとした。雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」へ質の高い原稿を投稿してもらうために、本年度実施するジャーナル関連特別シンポジウムなどの枠組みを発展さ

せる案もジャーナル企画経営委員会などで検討することとなった。

第 10 号議案 JpGU 学生優秀発表賞改革（成瀬理事） 追加資料 P.23

JpGU 学生優秀発表賞の改革に関する報告があった。現状では事務局と審査員の双方に負担が大きい。対策として、(1)審査支援 Web システムの構築(2)審査手順・審査基準のセクション間統一(3)審査支援の事務組織の強化を協議している。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 5 時 45 分)  
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成 25 年 10 月 11 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 3 回理事会

出席理事	津田	敏隆	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	奥村	晃史	印
出席理事	北	和之	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	佐藤	薫	印
出席理事	杉田	倫明	印
出席理事	瀧上	豊	印

出席理事 成瀬 元 印

出席理事 畠山 正恒 印

出席理事 濱野 洋三 印

出席理事 松本 淳 印